

平成 16 年 12 月 7 日
独立行政法人 経済産業研究所

RIETI 政策シンポジウム

「電力自由化：到達点と残された課題」

平成 16 年 12 月 15 日(水) 9:30-15:45 於国際連合大学ウ・タント国際会議場

欧米を中心とする世界中の多くの国・地域において、1990 年代から、電力自由化が積極的に進められています。わが国においても、2005 年 4 月より小売供給の自由化を全ての高压需要家に対してまで拡大することが決まっており、さらには全国規模の卸電力取引市場の創設、送配電部門のルール策定・監視を行う中立機関の設立等、一連の制度改革が予定されています。さらに 2007 年 4 月以降全面的な自由化に関する検討がスタートします。改革は継続的なプロセスであり、制度の詳細設計、実行を続けながら、さらにそれを評価し、さらなる改革につなげるという、長く険しい道のりが続くことが予想されます。

今回のシンポジウムでは、まず欧米における電力市場改革のこれまでの推移・経験とその現時点での評価を試みます。そのうえで、我が国において電力の自由化を進める制度設計に関する重要課題を体系的に議論します。

本シンポジウムでは、2004 年 8 月出版の『電力自由化の経済学』(八田達夫・田中誠編)(東洋経済新報社)をふまえ、IEA(国際エネルギー機関)フルスト局長をはじめ内外の専門家により多角的に議論を行い、今後取り組むべき政策課題を明らかにします。

記

1. 日時：平成 16 年 12 月 15 日(水) 9:30-15:45
2. 会場：国際連合大学ウ・タント国際会議場(東京都渋谷区)
<http://www.unu.edu/hq/japanese/access/index.html>
3. 開催言語：英語 日本語(同時通訳あり)
4. 参加費：2,000 円[公印を捺印した領収書を発行いたします。]
5. 主催：独立行政法人経済産業研究所
6. プログラム・スピーカー(詳細は<http://www.rieti.go.jp/jp/events/04121501/info.html>)
 - セッション 1: 「電力市場改革：世界の潮流と日本の現状と課題」 田辺靖雄(RIETI 副所長・セッションチェア)・ノエ・ヴァン・フルスト(IEA 長期協力・政策分析局長)・八田達夫(RIETI ファカルティフェロー・研究主幹/国際基督教大学教授)
 - セッション 2: 「めざすべき電力自由化のありかた」 田辺靖雄(RIETI 副所長・セッションチェア)・八田達夫(RIETI ファカルティフェロー・研究主幹・国際基督教大学教授)・ノエ・ヴァン・フルスト(IEA 長期協力・政策分析局長)
 - セッション 3: 「北米およびヨーロッパ停電の教訓」 ノエ・ヴァン・フルスト(IEA 長期協力・政策分析局長)
 - セッション 4: 「残された課題の整理」 川本明(RIETI コンサルティングフェロー・セッションチェア)・鶴田俊正(専修大学名誉教授/総合資源エネルギー調査会電気事業分科会委員)・古城誠(上智大学教授/総合資源エネルギー調査会電気事業分科会市場環境整備 WG 委員)・末次克彦(アジア・太平洋エネルギーフォーラム代表幹事/電気事業分科会委員)・榎本晃章(電気事業連合会副会長)・安達健祐(資源エネルギー庁電力・ガス事業部長・総括コメント)

以上

【シンポジウム参加お申し込み・お問い合わせ】

<http://www.rieti.go.jp/jp/events/04121501/info.html>

RIETI コンファレンス担当 松倉多恵子 (conf-emreform@rieti.go.jp) Tel:03-3501-8398

【取材等のお申し込み・お問い合わせ】

RIETI 広報企画担当 (info@rieti.go.jp) Tel:03-3501-1375 Fax:03-3501-8416